

指揮 喜古 恵理香 きこ えりか

東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻(指揮)及び同大学大学院指揮研究領域に学ぶ。

これまでに指揮を広く上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典の各氏に師事。

在学中、井上道義指揮者講習会にて優秀者に選出され、同講習会のリレーコンサートに出演。

2017年9月からNHK交響楽団よりパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントに任命され、2年間アシスタントコンダクターを務めた。

最近では新国立劇場、二期会、藤原歌劇団、日生劇場にて各主催のオペラ公演に副指揮者として携わる他、広島交響楽団、京都市交響楽団をはじめその他国内各地のオーケストラと共演し活躍の場を広げている。

名古屋シンフォニア管弦楽団

1982年に愛知県内のアマチュア音楽家有志によって結成され、今年創立40周年を迎えた老舗のアマチュアオーケストラです。音楽とアンサンブルをこよなく愛する年齢も職業も様々な80名近いメンバーで構成され、年2回の定期演奏会を続けています。指揮者をはじめ経験豊富なプロの先生方による熱心な指導のもと毎週練習を重ね、お客様にも楽しんでいただけるような演奏会を目指して活動しています。



曲紹介

■ワーグナー作曲: 楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲

庶民が主役のこのオペラ。ワーグナーは、人物やイメージをあらわす旋律「ライトモチーフ」を駆使して物語を表現しています。ドイツ芸術の威厳が鳴り響く、輝かしく美しい作品です。

■リスト作曲: 交響詩「レ・プレリュード」

13曲あるリストの交響詩の代表作です。「人生は死への前奏曲」という考えに基づき、リストの人生観が歌い上げられています。人生の始まり、そして愛を表現する「第一部」、人生の嵐が描かれる「第二部」、嵐のあとの静かで平和な田園生活を描く「第三部」、戦いの「第四部」から構成されています。

■ブラームス作曲: 交響曲 第4番

ブラームスが作曲した最後の交響曲です。人生を振り返っているかのように哀愁が漂います。冒頭、「ため息」のモチーフと呼ばれる、弦楽器による掛け合いをはじめ、鮮やかで美しいメロディが豊富です。メロディを支える楽器にも耳を傾ければ、立体的でダイナミックに広がる感じをよりお楽しみいただけます。

— 団員募集のお知らせ —

当団では私達と一緒に楽しく活動する仲間を募集しています(面談等あり)。募集パート等はホームページ<http://www.nagoya-sinfonia.jp>をご覧ください。見学も随時受け付けておりますのでお気軽にnyuudan-madoguchi@nagoya-sinfonia.jp宛にお問い合わせください。

感染症予防の ためのお願い

- 座席は前後左右の間隔を空けた配置となっております。指定のお席にてお聴きください。
- 必ずマスクを着用してご来場ください。
- 社会的距離の確保、手洗い、手指消毒など、感染予防にご協力ください。
- ご入場時に37.5度以上の発熱が認められたお客様にはご入場をお断りさせていただきます。必ず検温してからご来場ください。発熱のほか体調不良の場合もご来場をお控えください。
- 感染症対策の一環として、託児サービスならびにクロークでのサービス(お荷物や贈り物のお預かり等)を中止しております。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA)のインストールをお願いします。
- チケットのご購入者とご来場者が異なる場合は事前にご連絡ください。
- ホール内の換気により寒暖差等が発生することがありますので服装にご注意ください。
- 今後の状況によっては、やむを得ず公演を中止する可能性もありますので予めご了承願います。

詳しくはこちらを
ご覧ください →



●会場アクセス 愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター4F
<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/>

地下鉄: 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分

名鉄: 瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)